

事業名：ごみ排出抑制啓発事業

廃棄物対策課 減量推進係

政策	01 環境と調和する都市の構築								
施策	01 循環型社会の形成								
基本事業	01 ごみの発生・排出の抑制								
開始年度	平成16年度	終了年度	—	実施計画 事業認定	対象	会計区分	一般会計	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
<ul style="list-style-type: none"> ・市民 ・市内小売店舗 	
手段（事務事業の内容、やり方）	
<ul style="list-style-type: none"> ・レジ袋を辞退して買い物袋を持参する運動（マイバッグ）の呼びかけ及び啓発 ・トレイ容器等の店舗内回収ボックスの活用啓発 ・廃食用油回収に関する啓発 	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
<ul style="list-style-type: none"> ・市民一人ひとりが工夫をし、ごみになるものを家庭に持ち込まないようにし、ごみの発生抑制を図る。 ・ごみ減量化と再資源化の必要性について認識してもらい、ごみと資源物の分別と排出の啓発を図る。 	

指標・事業費の推移						
区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	市民	人	121,705	121,385	120,802	120,802
対象指標2	市内小売等店舗数	店舗	1,191	1,237	1,237	1,237
活動指標1	ごみ排出抑制に関する啓発件数	件	18	21	20	23
活動指標2						
成果指標1	排出抑制協力店舗数	店舗	16	15	14	—
成果指標2	家庭用廃食用油回収量	L	9,265	10,522	10,976	10,973
事業費(A)		千円	475	325	461	1,858
正職員人件費(B)		千円	16,052	16,032	11,720	11,736
総事業費(A+B)		千円	16,527	16,357	12,181	13,594

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
25年度	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生用のごみ減量啓発パンフレットの作成・配布 ・事業ごみ分け方・出し方パンフレットの作成・配布 ・江別消費者協会に対し啓発事業の委託料を支出 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生用ごみ減量啓発パンフレット作成経費 219千円 ・事業ごみ分け方・出し方パンフレットの作成経費 95千円 ・ごみ排出抑制啓発推進委託料 100千円

事業を取り巻く環境変化
事業開始背景
事業を取り巻く環境変化

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）	
(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？	
妥当である 妥当性が低い	理由 根拠
マイバック持参運動や家庭用廃食用油回収などの事業は、資源化率を高め、ごみ減量化につながることから、行政の役割として妥当である。	
(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？	
貢献度大きい 貢献度ふつう 貢献度小さい 基礎的事務事業	理由 根拠
リサイクル意識の向上やごみ排出量減少に寄与する事業として、一定の貢献度はある。	
(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？	
上がっている どちらかといえば上がっている 上がらない	理由 根拠
エコ・リサイクル意識の高まりとともに、家庭用廃食用油回収量が増加傾向にあるなど徐々に効果は出てきている。	
(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？	
成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小・なし	理由 根拠
大型店での簡易包装、レジ袋有料化は全市的な広がりを見せており、市民意識も定着してきたが、レジ袋を使用する市民も多いことから、更なる啓発に努めたい。	
(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算+所要時間）を削減する方法はありますか？	
ある なし	理由 根拠
啓発活動等の経費として、必要最低限の予算であると考えている。	